



クニマッスン  
出生地 忍野村  
山梨県水産技術センター  
□癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは案内責任者)

『講左衛門さん、お久しぶりでまっすん。今年、年明け早々忙しい日々を送ったでまっすん。』

『そうじゃな。年末年始にかけて、不幸が続いたからのう..1月の講左衛門通信はお休みさせてもらったんじゃよ。』

『そうだったでまっすん。今年初めの講左衛門通信は、どのような話を聞かせてくれるでまっすん?』

『今年、申年じゃ。さて、クニマッスンは、庚申塔(こうしんとう)を見たことがあるかのう?』

『分かりやすい場所では、忍草浅間神社の境内にあるでまっすん。忍野村には、いくつも庚申塔があるでまっすん。』

『感心じゃな。さて、庚申(かのえさる・こうしん)とは、干支(かんし・えと)、すなわち十干・十二支の60通りあ

る組み合わうちの一つを言うんじゃ。日本には、庚申信仰というものがあるんじゃ。さて、庚申信仰において重要な役目を果たすのが猿なんじゃが、猿と言え、富士山牛王に描かれているんじゃが覚えておるかのう。そもそも庚申信仰は、60日に1度やってくる庚申の日に、その日の夜は眠らずに過ごすという催しなんじゃよ。この信仰は、道教という教えが基になっていてな、人間の体内にいる虫を三尸(さんし)と言って、庚申の夜には三尸が体内から抜け出して、人の悪行を天帝に告げに行ってしまう、その人の寿命を縮めてしまうと思われていたんじゃ。そこで、三尸が天帝に告げ口しないように、一晩中眠らずに過ごしたんじゃ。一人で夜明かしをするのは難しいということで、庚申講という講中が生まれたんじゃ。』

『なるほど、なるほどでまっすん。天帝は、北斗七星と関係があると聞いたでまっすん。』

『少し難しい話になるんじゃが、天帝というのは北斗七星のことで、北極紫微大帝などと呼ばれているんじゃ。北斗七星は、人の運命を掌ると言われ、庚申の日は北斗七星が礼拝対象とされるようになったんじゃ。また、庚申の礼拝対象としては山王権現があるんじゃが、山王権現は比叡の鎮守なんじゃ。山王を七社としたのは、北斗七星をかたどったものと言われているんじゃよ。山王の化身とされる猿も庚申の礼拝対象となったと言われているんじゃが、三猿が庚申の礼拝対象となったのは、人の悪事を天帝に告げる三尸を三猿になぞらえ、その報告を食い止めようという意図によって着想されたのではないかという説があるんじゃよ。』

『少し難しかったでまっすん。けれども、道教の教えと北斗七星、比叡の鎮守である山王権現、様々なことを知れば知るほど、忍野八海は不思議な池でまっすん。』

『そうじゃな。さて、今回は、庚申の年を御縁年と言うんじゃが、60年に1度しかやってこない庚申の年は特に盛大だったんじゃ。庚申塔は御縁年に造られているんじゃよ。忍野村のどこに庚申塔があるのか、話そうと思っておるぞ。今年初めての講左衛門通信じゃが、不幸が続いてしまったからのう新年の挨拶は控えよう。今年もよろしく頼むぞ。』